

大飯発電所1号機の原子炉手動停止について (1次冷却材ポンプ封水注入フィルタの点検)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所1号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力 117.5万kW）は定格熱出力一定運転中のところ、平成19年9月3日21時15分頃、運転員が体積制御タンク水位の低下を確認するとともに、加圧器水位についてもわずかに低下傾向にあることを確認した。

直ちに関連パラメータを確認したところ、原子炉補助建屋の床ドレンタンク水位の上昇が確認されたため、同建屋内を点検した結果、1次冷却材ポンプのA-封水注入フィルタ^{※1}付近からの漏えいが認められた。

このため、B-封水注入フィルタに切り替えるとともに、A-封水注入フィルタの入口弁と出口弁を閉止し、同日23時39分に漏えいは停止した。

今後の運転に万全を期す観点から、本日（4日）16時頃より出力降下を開始し、同日23時頃に発電停止、翌5日0時30分頃に原子炉停止し、漏えいが発生したA-封水注入フィルタの点検を行うこととした。

漏えいした水は原子炉補助建屋の床ドレンタンクに回収されており、漏えい量は約3.4 m³（放射エネルギーは約 6.8×10^5 Bq）と推定される。

なお、今回の漏えいに伴い、プラント排気筒ガスモニタの指示値に通常値に比べわずかな上昇（約870→約900cpm）^{※2}が見られたが、これによる環境への放出放射エネルギーは約 1.4×10^9 Bqと評価され、保安規定に基づく放出管理目標値（ 3.9×10^{15} Bq/年）に比べ十分低く、周辺環境への放射能の影響はない。

※1：封水注入フィルタ

1次冷却材ポンプ内の水が主軸に沿って外部に流出しないように封水を注入しているが、その水を浄化するもの。

※2：注意警報3000cpm、高警報20000cpm

（経済産業省による I N E S の暫定評価尺度）

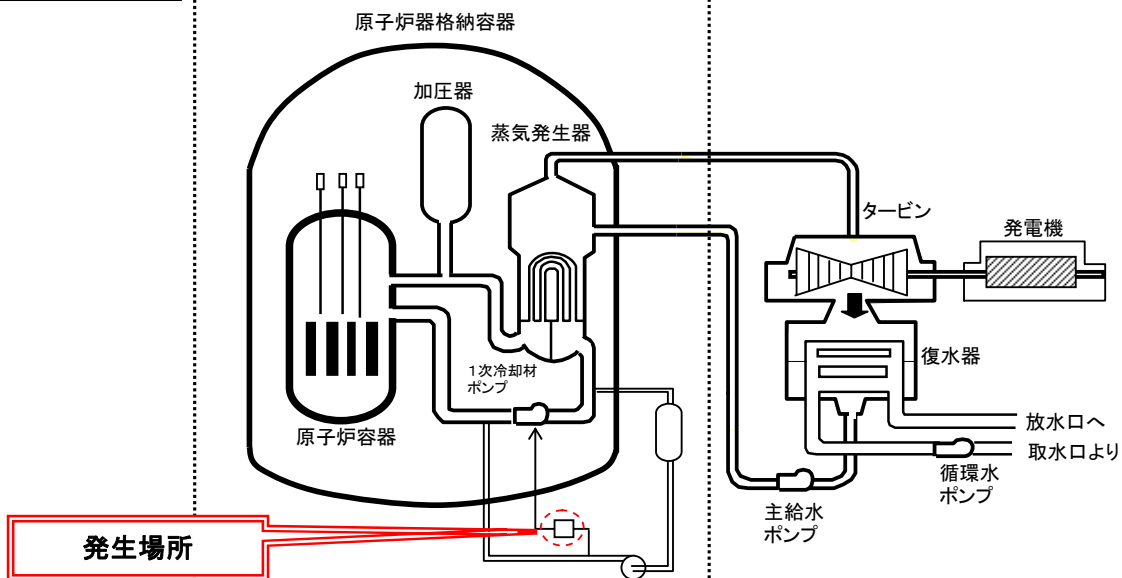
基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0+	0+

I N E S：国際原子力評価尺度

問い合わせ先(担当：三木)
内線2354・直通0776(20)0314

大飯発電所1号機 原子炉手動停止について (1次冷却材ポンプ封水注入フィルタの点検について)

系統概略図



封水注入フィルタ周辺概要図(イメージ)

